

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路整備課
担当課長名：神野 忠

事業名	一般国道438号 上八万バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	白：徳島県 徳島市 八万町 大坪 至：徳島県 名東郡 佐那河内村 一ノ瀬			延長	5.5km	
事業概要	一般国道438号は県央部を横断する幹線道路であり、徳島市内においては渋滞解消を目的とする放射環状道路に位置付けられている。上八万バイパスは、国が進める徳島南環状道路への連絡道路として、また、朝夕の交通渋滞の緩和と歩車道の分離が不十分なために多発している交通事故の解消を図ることを目的に整備する2車線道路である。					
S63年度事業化		-		H3年度用地着手		H4年度工事着工
全体事業費	125億円	事業進捗率	68.2%	供用済延長	2.2km	
計画交通量	4,100~11,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C : (事業全体) 1.2 (残事業) 2.7	総費用 : (残事業)/(事業全体) 32.2/141.7億円 事業費:31.4/140.2億円 維持管理費:0.9/1.5億円	総便益 : (残事業)/(事業全体) 86/170億円 走行時間短縮便益:67/135億円 走行経費減少便益:15/28億円 交通事故減少便益:4/27億円	基準年 : 平成25年度		
感度分析の結果 (残事業)	交通量変動 : B/C=3.0 (交通量 +10%) 事業費変動 : B/C=2.4 (事業費 +10%) 事業期間変動 : B/C=2.6 (事業期間+1年)	B/C=2.4 (交通量 -10%) B/C=3.0 (事業費 -10%) B/C=2.8 (事業期間-1年)				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 道路ネットワーク効果：南環状道路大木IC(仮称)へのアクセス向上 防災・減災効果：緊急輸送道路ネットワークの強化による地域防災力の向上。 園瀬川出水時の道路冠水の解消。 周辺地域の効果：地域の安全の確保、地域産業の物流の効率化。 					
関係する地方公共団体等の意見	・沿線市町村で構成する「国道438号・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会」から早期整備を求める要望を受けている。					
事業採択時より今回再評価実施までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年3月に徳島西環状線の一般国道192号と主要地方道德島鴨島線間が暫定供用。 平成24年4月に徳島東環状線の一般国道11号と市道常三島沖洲線間が完成供用。 平成24年7月に徳島南環状道路の一般県道宮倉徳島線と一般国道55号間が暫定供用。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度末の供用区間は全延長5.5kmのうち、中山・花房地区の約1.6kmが供用済み。 平成20年6月には大木地区の約0.6kmが暫定供用。 残事業は園瀬橋～大木地区の現道拡幅部と一ノ瀬地区及び田中・西地地区のバイパス部。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・平成26年度に徳島南環状道路大木IC(仮称)が開通することに合わせて本事業の園瀬工区の拡幅を完了させる。また、線形不良・幅員狭小な一ノ瀬工区を優先的に進める。					
施工の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 構造物のプレキャスト化（L型擁壁）によりコスト縮減及び工期短縮を図っている。 他事業と連携した残土の有効利用によりコスト縮減を図っている。 					
対応方針	事業継続					
対応方針の決定理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。